

主題：一主イエスは罪を赦す権威を持っておられる一

2021/5/26

目標：一主イエスが私たちの罪を赦すため、十字架に架かられたことを信じ罪の赦しに与る一

キリスト伝

I ガリヤ伝道④

「罪を赦す権威」

マルコ2:1～12 p67

ルカ5:17～26、マタイ9:1～8

主イエスはカペナウムを「自分の町」とされ、ペテロの家か、親しい者から借りた家に伝道の本部を置かれた。屋根を壊し、つり降ろした病人の癒しの奇跡はその家で起きたのである。

この癒しの奇跡は、ただ病気の癒しの奇跡だけではない。主イエスは中風の人「罪の赦し」を宣言され、癒やしはその証拠となった。逆から言えば、「癒しの業」は「罪の赦し」の結果であり、「罪の赦す権威」を実行できるのは救い主である証拠である。

私たちの間違いは、人間の側で功德、修行、善行などを積むことにより、欲望や全ての問題から解放され、良い人間になれる。そうすれば天国に行けるという考えである。しかしこれは、聖書の神の「罪の赦し」とは全く違う。聖なる神が王である天国は、どのように功德があり良い人間であっても、1つでも罪ある者の入国を、決して許さない神の国である。

私たち人間は、聖なる神に創られ、生命を与えられ、生かされているが、汚い思いを持ち、良くないことを考え、行動してしまう。罪の全くない人間など存在しない。しかし、聖なる神に罰せられるこの罪を、主イエスだけは「赦す」と言われる。その根拠こそ、「十字架」である。

罪の遺伝がなく、罪を犯したことの無い唯一の神の御子主イエスが、聖なる神の前に人類全ての人の罪の身代わりに、十字架の上で神の刑罰を代わりに受けて下さったのである。

聖なる神は、御子イエスの功により「主イエスの十字架」が自分のためであったと信じる信仰者だけに、この身代わりの十字架による罪の赦しの「特権」を与えられるのである。

時間の制約を受けられない救い主イエスが「罪を赦す」と言われるなら、もう誰もとがめたり、止めたりすることはできない。私たちの救いは「主イエスの十字架」だけである。

[聖書の学び]

律法学者→ バビロン捕囚後にエズラから始まった、律法を調べて教える教師の専門職の名称

I、人々が主イエスに見ていたもの

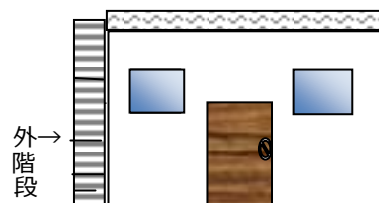
(マルコ2:1～4)

- 1、主イエスの活動をよく知っていたカペナウムの人々はどうしましたか。

屋根は木材の梁の上に木の枝を渡し、^{むしろ}席などを引き、その上に土を盛って踏み固めたもの

- 2、中風の人「寝床を担いだ四人の人がどんなことをしても、主イエスに会いたい理由は何でしょうか。

(マルコ2:4)



II、主イエスが人の心の中に見ておられるもの (マルコ2:1～12)

- 1、主イエスは彼らの何を見られたのでしょうか。(マルコ2:5)

①四人と中風の人は主イエスに対して、どのような信仰を持っていたと思いますか。
主イエスは(預言者、奇跡を行う癒す人、救い主)

②そこにいた律法学者たちの考えは、どうだと思いますか。

2、この中風の人の病の原因が何であると、主イエスは見られたと思いますか。

①この人の病気の原因→ 罪

②この人の病気を癒すためには、どうするのがよいでしょうか。

③[罪を取り除く] = [あなたの罪は赦された]… 罪があるのに、罪が帳消しになったとは？

3、主イエスが「あなたの罪は赦された」と言える根拠はどこにあると思いますか。

Ⅲ、主イエスだけが持つておられるもの (マルコ2:7～12)

1、一緒にいた律法学者たちの心の中の考えはどうでしたか。(マルコ2:7)

①神を冒涇している。…神お一人にしか罪を赦すことができない。

②人間が同じ人間の「罪は赦された」と言えるのか。

③「罪は赦された」と言っても罪は目に見えないから、でまかせを言うだけだ。

2、主イエスは何と言われ、何をされましたか。(マルコ2:9～12)

3、主イエスがこの癒しを通して、私たちに知らせたかったことは何だと思いますか。

①人を癒す業
罪の赦しの業 } 「神」の許しが必要である

②「罪を赦す権威」を持っている主イエスご自身が「神」であるということ。

* **ディスカッション** (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。